



会報

58号

デザイン 池田満寿夫

ながめ

発行人 荒井 公

編集長 井澤一幸

10月末現在賛助会員数 長野地区 458人 県全体 2,086人

コロナ禍の中今年度初の 幹事会が開かれる

新型コロナウイルス感染症の拡大がいまだに治まらない中、10月15日(木)に今年度初めての幹事会を開催しました。いくつかの賛助会活動事業が中止の報告もあり今後の状況が心配されるところですが、しっかりと安全対策をとり、できる限り活動を継続したいとの報告がありました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度事業計画が変更となりましたので、第4号計画を掲載いたします。

令和2年度 長野地区賛助会年間事業計画 (4号)

月	日	曜	事業名	時間	場所	内容
4	16	木	四役会 ①	11:00	別館サロン	元年度会計監査・総会議題他
5	14	木	2年度長野地区賛助会定期総会 (文書にて実施)			定期総会
6	4	木	四役会 ②	13:30	別館サロン	定期総会・新旧役員引継
7	7 15 15	火 水 水	編集会議 会報57号発行 「賛助会員の集い」開催賛否投票	14:00	別館サロン	結果中止に決定
8	20	木	四役会 ③	13:30	別館サロン	「賛助会員の集い」について
10	14 15	水 木	「シニア向けスマートフォンセミナー」 幹事会 ①	13:00 13:30	吉田公民館 別館2階	「良く使うアプリの紹介」等・19名参加 今年度事業の推進状況について
11	6 16	金 月	編集会議 会報58号発行	14:00	別館サロン	
12	10	木	四役会 ④ 幹事会 ②	11:00 13:30	別館サロン 別館2階	3年度事業計画(案)・他
2	10	水	幹事会 ③・親睦文化交流会	13:30	別館2階	3年度事業計画(案)・他
3	5 15 18	金 月 木	編集会議 会報59号発行 四役会 ⑤	14:00 13:30	別館サロン 別館サロン	3年度定期総会 他

※ その他、本会目的達成に必要と認める事業及び幹事会等会議を随時開催する。

「シニア向けスマホ教室」

「シニア向けスマートフォンセミナー」

？

10月14日開催される



長野地区賛助会交流企画として、ソフトバンクの講師を招き『シニア向けスマホ教室』（「IT・Sの会」協賛）を吉田公民館にて開催しました。日頃から「スマホは持っているが使い方がわからない。」という方が多かったので良い機会でした。皆さん悪戦苦闘しながらも、ほとんどの方が「次回も是非参加したい。」ということでした。

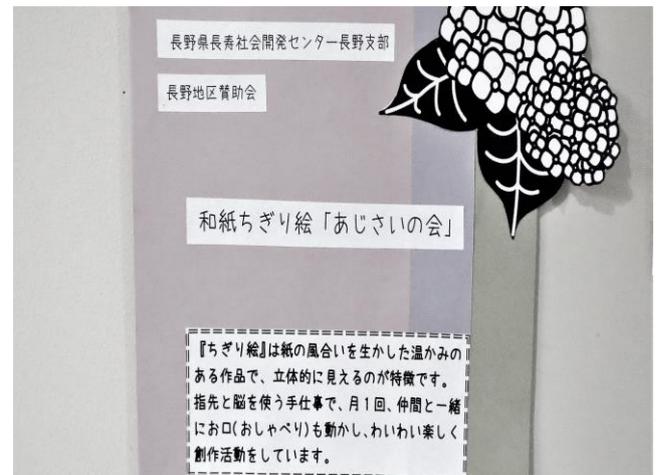


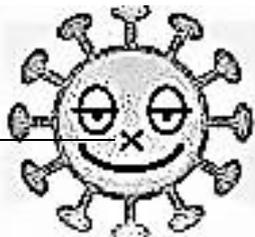
シニア大OB「賛助会員」による ママの作品展出展終わる

コロナで停滞していた
作品発表の場に喜び

※ 展示期間 令和2年9月11日～30日
※ 会場 長野市健康増進施設「湯～ぱれあ」

長引くコロナ禍でも細々と活動してきた「賛助会グループ」の発表の場が無い中、長野地区シニア活動推進コーディネート「ママの作品展」(「湯～ぱれあ」主催)の紹介がありました。若いママからベテランママ作家たちの作品展示と交流が目的で、賛助会グループの「木つつき会」と和紙ちぎり絵「あじさいの会」から8名が出展。若い人の作品を見る機会がなかったので新鮮だと感想がありました。





何と読む
コ ロ ナ 禍



新聞の見出しなどで頻繁に目にするようになった「コロナ禍」ですがその読み方や意味を知っていますか？「実は読み方がわからない」という人は、ぜひこの機会に正しく知っておきましょう。

「コロナ禍」はどう読むのが正しい

正しい読み方や意味、具体的な使い方について解説します。

○ 読み方と意味

「禍」という漢字には音読みと訓読みがあります。音読みは「か」で訓読みは「まが」や「わざわい」と読みます。コロナ禍の場合は音読みとなり「コロナか」が正しい読み方です。「わざわい」という読み方があるように、禍には災いや不幸せなどのネガティブな意味があります。予期していなかった悪い事柄や、喜ばしくない事柄に使われるのが主流です。

新型コロナウイルスは、まさに誰もが予期していなかったので「禍」の意味に合致します。

○ 災いと使い分け

「禍い」と「災い」は同じ読みですが、両者には明確な違いがあります。阻止できる災いか、できない災いかで使い分けられます。

○ 具体的な使い方

新型コロナウイルス感染拡大は、社会経済など様々な方面に災いをもたらしています。そういった苦境や災難を一言で表現する言葉として「コロナ禍」が使われています。

○ 2月半ば頃からネットや新聞でも広がる。

「コロナ禍」が使われ始めたのは、2020年の2月半ば頃です。新型コロナウイルス感染が社会生活に悪影響を及ぼし始めたころになります。

3月には一般紙や全国紙にも頻繁に使われ、現在に至っています。

インターネットより



今年、新年は、早々コロナウイルス感染が各地に広がり、今だに終息の気配がありません。米国ではさらに拡大が続き終息には程遠いようです。日本ではGoToトラベルで人の動きが解放され、善光寺でも賑わいが戻ってきています。

編集後記